

緑水湖周辺エリア活性化ビジョン

～豊かな自然や里山文化を活かした
緑水湖周辺エリアの再生復活～

2023年3月
南部町

目次

1. 策定の背景・現状

- 1-1. 背景 1
- 1-2. 当エリアのSWOT分析 4
- 1-3. SWOT分析を踏まえたビジネスチャンス 5

2. イメージとターゲット

- 2-1. エリアの目指すイメージとターゲット 8
- 2-2. イメージとターゲットに基づき挑戦した実証事業 9

3. 基本方針

- 3-1. 基本方針の全体像 10
- 3-2. 新たな観光資源の創出・掘り起こし 11
- 3-3. ワークーションの環境整備 12
- 3-4. 担い手育成 13
- 3-5. エリア内施設の連携強化 14

4. 基本方針を実現するためのアイデア

- 4-1. アイデアの一覧 15
- 4-2. 新たな観光資源の創出・掘り起こし 16
- 4-3. ワークーションの環境整備 20
- 4-4. 担い手育成 22
- 4-5. エリア内施設の連携強化 27

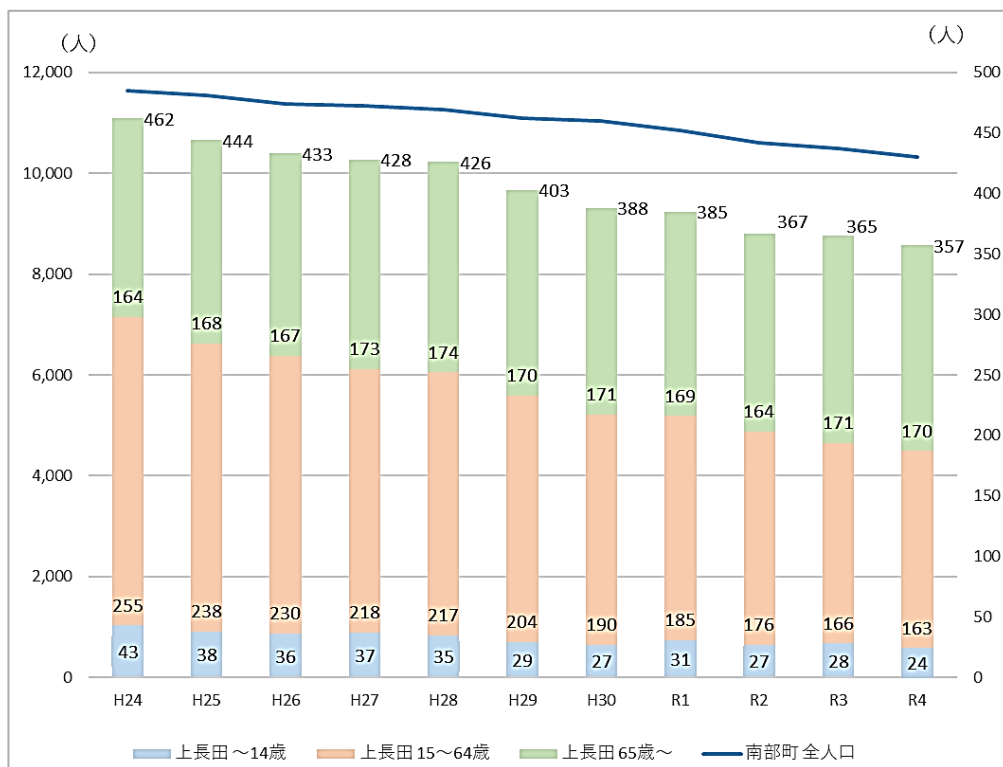
1-1. 背景

ダム周辺開発として1970年代に始まった自然休養村整備事業により整備された緑水湖周辺は、小さな子どもから高齢者まで、誰でも楽しめる憩いとレジャーの里づくりとして整備され、様々なレジャー施設があり、文化・スポーツを始めとする各種イベントが開催されるなど、一時は緑水湖周辺エリアの拠点施設“緑水園”の利用者だけでも年間11万人を超える時期もありました。

しかしながら、施設の老朽化や観光ニーズの多様化、さらにはコロナ禍も相まって緑水湖周辺エリアの利用者数は激減しています。

南さいはく地域の人口も減少に歯止めがかからない状況が続いており、活性化は喫緊の課題となっています。

【緑水湖周辺エリアの人口と南部町の人口動態】



【緑水湖周辺エリアの事業者リスト】

株式会社 緑水園	宿泊、レストラン コテージ、研修センターアリーナの運営
南さいはく地域振興協議会	地域内活性化活動の推進、森林公園等の指定管理受託
一般社団法人南さいはく	加工品の製造販売
農事組合法人さいはく山菜	地域の農産物の加工販売（漬け物、餅、おこわ等）
カフェ・ド・穂のか	ランチとカフェ
ふれあい市	地域の農産物と加工品の直売
株式会社スマイルキューブ	緑水湖オートキャンプ場の運営

1-1. 背景

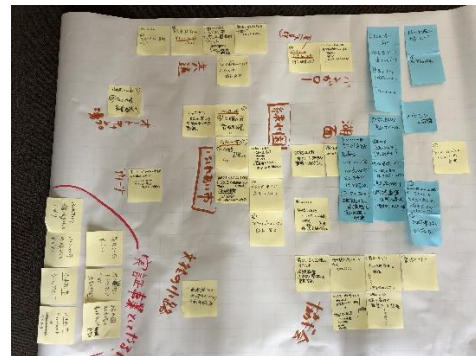
南さいはく地域の拠点である緑水湖周辺エリアの賑わいは、地域住民の元気や地域の活性化に直結していきます。

そのため、株式会社緑水園をはじめとする各指定管理者や南さいはく地域振興協議会などの関係団体と共に、令和3年度に3回のワークショップを開催し、地域への思いや地域が抱える課題について意見交換を行いました。また、個別のヒアリングではKPT法を用いてそれぞれの課題を抽出しました。

【緑水園でのワークショップ】



【課題の抽出と取りまとめ】



これらのワークショップや個別ヒアリングを経て、地域の課題や取組の方向性を整理することができ、これを踏まえた活動ビジョンを作成することになりました。

活動ビジョンでは、緑水湖周辺エリアの再活性化のため、今ある施設を有効活用し、時代にあった当エリア内の楽しみ方の提案とエリアイメージのブランディングにより、周遊の促進と滞在時間の延伸を図り、エリア内での消費行動の活性化を目指すこととしています。

1-1. 背景

また、令和3年度のワークショップを通じて、緑水湖周辺エリアの訪問者向けに魅力を発信できるマップ作成についての要望が多くあがったため、事業者共同で『緑水湖周辺エリア外遊びマップ』を作成し、町内主要施設での配布を始めました。

【事業者が共同作成した「緑水湖周辺外遊びマップ」】

緑水湖 エリア 外遊びマップ

ACCESS

もっと体験!
竹あかり体験
電動ドリルを使ってあんなだけのオリジナル竹あかりを作ってみませんか? 完成品が完成したら、飾りもよそよそとインテリアとしても楽しめます。

もっとグルメ!
緑水湖の季節のフルーツが盛り込まれたデザートやスイーツもおすすめです。
緑水湖シェパードランチ
メニューはここに載っています。メニューが変更になる場合がありますので、お電話でご確認ください。

おみやげ!
緑水湖で採れた新鮮な野菜や果物、お土産もたくさんあります。

アウトドア満喫コース
アウトドアが好き キャンプを始めてみたい

複数家族でワイワイコース
スポーツが好き 家族ぐるみで旅行したい

別荘気分ですぐに癒えるコース
小さい子どもがいる 人を気にせずゆっくり過ごしたい

虹の村コテージ
キッチンとリビング、ベッドルームを備えた2層のコテージは、小さな子ども連れにも最適な設備が揃っています。お風呂も広々としたお風呂も備えています。

緑水湖レストラン
湖を望むレストランは、地元産の食材を使ったお料理が楽しめます。お土産もたくさんあります。

西柏カントリーパーク
スポーツ施設の他にも、お土産やさんや、お食事処もたくさんあります。

レクサイドアリーナ
バスケットボールコートやテニスコートなど、様々なスポーツ施設が揃っています。お土産もたくさんあります。

いちじくソフト
夏にぴったりなソフトクリーム。お土産もたくさんあります。

緑水湖オートキャンプ場
緑水湖オートキャンプ場
緑水湖レストラン
西柏カントリーパーク
レクサイドアリーナ
いちじくソフト

外遊びマップ
緑水湖周辺外遊びマップ

西柏カントリーパーク
095-446-5008
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

高きほく交流館施設「かまくら山荘」
095-446-5115
施設営業時間: 08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5115

買付ダム
095-446-2121 (緑水湖管理事務所)
08:30~17:15
買付ダムレストランもおすすめです。

森林公園キャンプ場
075-7566-0495
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

ミステリアーハウス
095-446-5111
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

レストハウス カフェテリア
095-446-5111
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

文芸の小荘
095-446-5111
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

緑水湖
095-446-5111
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

緑水湖ふれあい市
08:00~13:00 (日・祭日)
095-446-5111

虹の村コテージ
095-446-5111
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

こまねび丁所
095-446-5111
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

緑水湖オートキャンプ場
095-446-5111
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

文芸の小荘
095-446-5111
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

緑水湖レストラン
095-446-5111
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

西柏カントリーパーク
095-446-5111
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

レクサイドアリーナ
095-446-5111
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

いちじくソフト
095-446-5111
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

緑水湖オートキャンプ場
095-446-5111
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

文芸の小荘
095-446-5111
08:30~17:00 (日・祭日)
095-446-5111

1-2. 当エリアのSWOT分析

当エリアを取り巻く状況を多角的に検証するため、SWOT分析を通じてエリアの強み弱み等を把握し、ビジョンの方向性を確認しました。

内部環境	強み	弱み
	<ul style="list-style-type: none"> • 団体研修に適した施設 • 自然等を活用した体験メニュー提供者 • 様々な客層に対応できる多様な形態の宿泊施設 • 雨天時に活用できる施設（アリーナ、研修館等） • 緑水湖の湖面が活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> • 人口減少・担い手の高齢化 • 施設の老朽化 • 湖面利用には資格と維持管理が必要
外部環境	機会	脅威
	<ul style="list-style-type: none"> • 多様性豊かな自然環境（環境省「重要里地里山」選定地） • キャンプ需要の高まり • テレワークの普及 • 米子空港や米子市街から好アクセス 	<ul style="list-style-type: none"> • 人口減少による国内旅行の市場縮小 • 新型コロナウイルスによるインバウンド・団体旅行の減少 • 山陰特有の気候（特に冬の曇り・積雪）

この分析を活用しながら、当エリアのビジネスチャンスを考えていきます。

新型コロナウイルスによって団体旅行は減少したものの、密を避けられるキャンプ需要が高まっています。

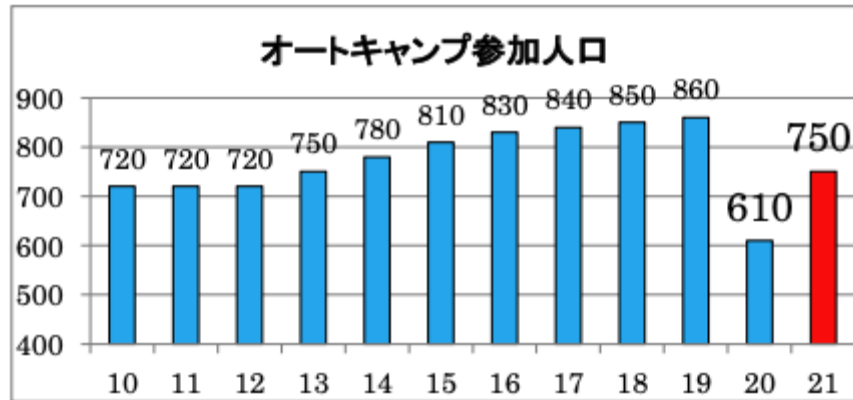
SDGsの世界的な広がりに伴い、旅行・観光のテーマとして「サステイナブルツーリズム（以下、「サスツー」とする。）」がトレンドの一つとなっており、里山の豊かな暮らしや自然が観光資源として活用できます。

また、予測不可能な時代を生き抜くための企業研修としてアウトドア研修や課題解決型研修が注目されており、ワーケーションと併せてビジネスパーソンに活路が見出せます。雨天時に活用できる施設があることも強みです。

1-3. SWOT分析を踏まえたビジネスチャンス

■全国的なキャンプ需要の高まり

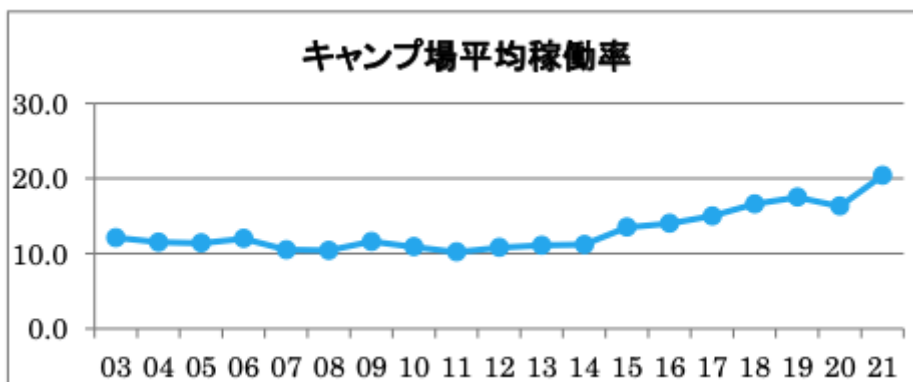
キャンプ需要の高まりについての調査結果を見ると、当エリアの強みや機会を十分活かすことができます。



キャンプは「密」が避けられるレジャーとして、20年に引き続き 21年も注目され、CMなどを含めて様々なメディアにキャンプシーンが登場した。こうした注目度はユーザー側に留まらず、「事業再構築補助金」では新たな事業としてキャンプが例示されるなど、キャンプは事業としても注目されました。

2021年に1年間に1回以上キャンプをした人の数「オートキャンプ参加人口」は750万人と、コロナ禍により大幅に下がった2020年の610万人から、23%増と大きく回復しました。

出典：一般社団法人オートキャンプ協会 HP



キャンプ熱の高まりは、年間のキャンプの数にも表れており、1年間にキャンプに行った平均回数は4.9回と2020年の4.6回を0.3回上回り、泊数も6.2泊と2020年の6.1泊から0.1泊伸びている。キャンプの回数、泊数が伸びたことでキャンプ場の稼働率(営業日ベース)は20.4%と過去最高の値となった。

出典：一般社団法人オートキャンプ協会 HP

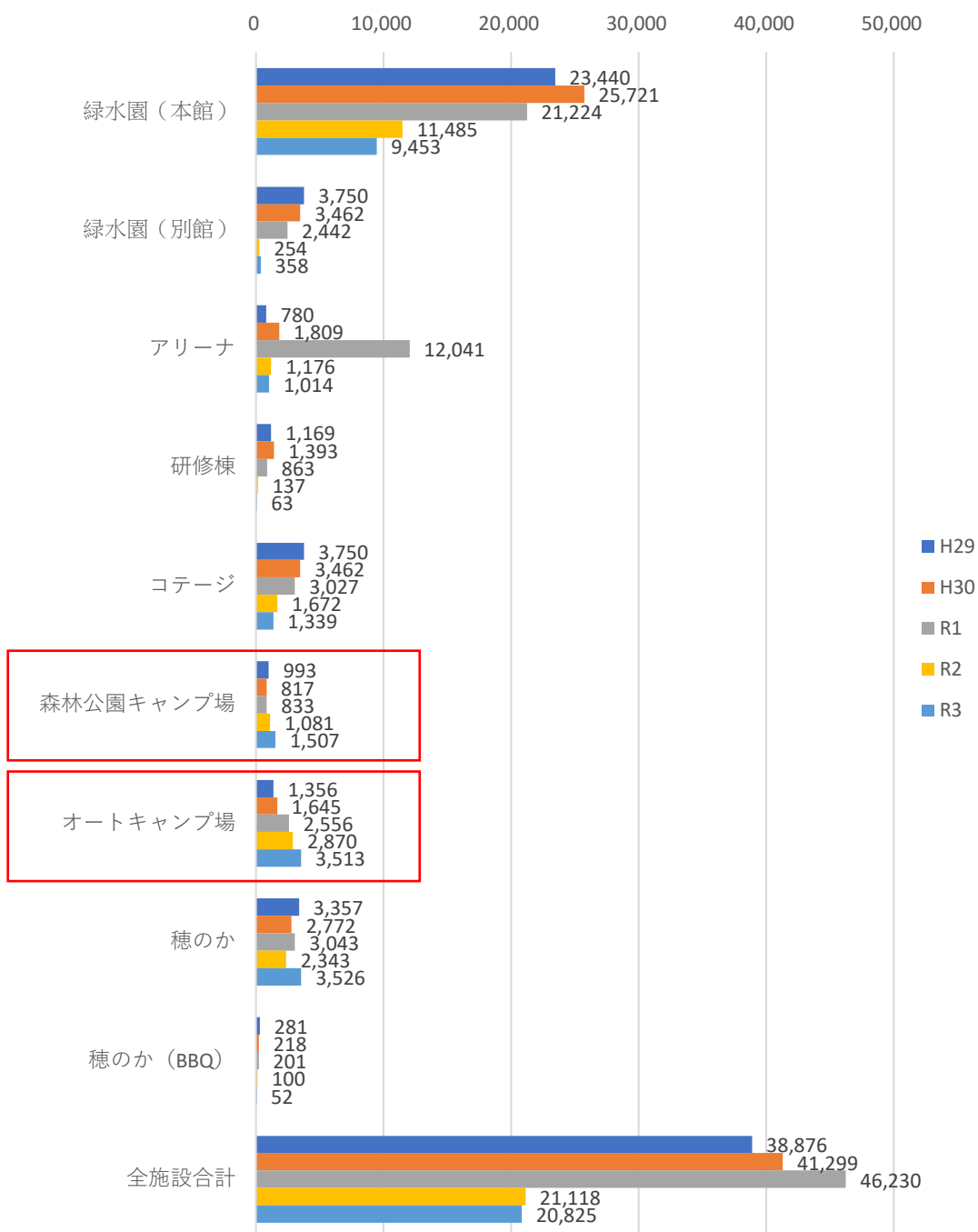
1-3. SWOT分析を踏まえたビジネスチャンス

■当エリアでのキャンプ需要の高まり

南部町には緑水湖オートキャンプ場および森林公園キャンプ場があります。鳥取県が推し進める「とりキャン」の取組も後押しし、利用者は増加傾向にあります。

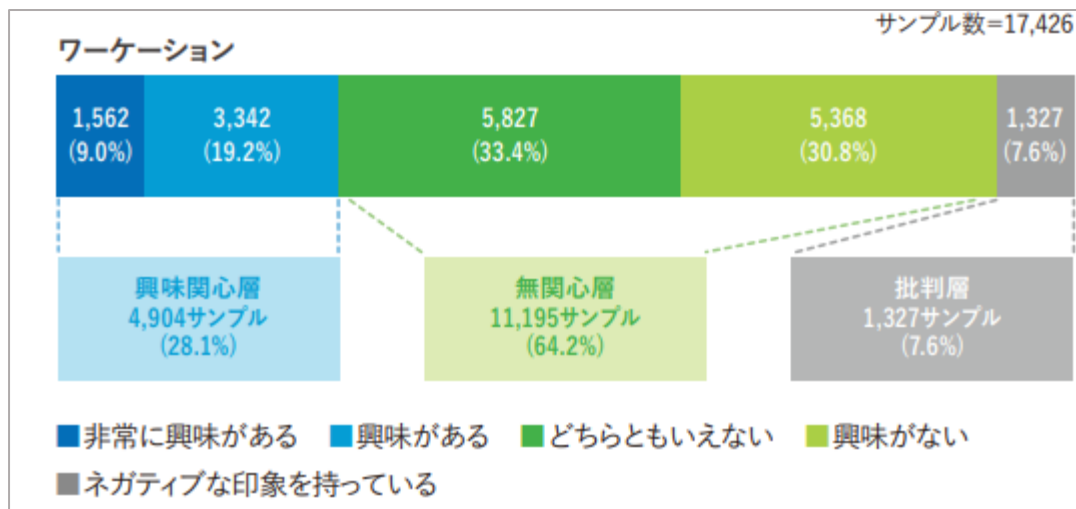
キャンプ客が当エリアに訪れることにより、薪や食材等の買い物需要や温泉利用などの経済効果が期待できるほか、当エリアがキャンプ客に町内の各種自然体験等の体験事業を積極的にPRすることにより、当エリアや町のファン獲得を目指します。

【緑水湖周辺エリアの各施設利用客数】 (人)



1-3. SWOT分析を踏まえたビジネスチャンス

■ ワークーションへの注目



観光庁が実施した調査では、利用者となる従業員のワークーションに関する認知率は約8割にのびりましたが、実際にワークーションを体験した人は全体の4.3%となり、テレワークの実施率32.2%と比較してもまだまだ少ない状況です。ワークーションに「非常に興味がある」(9.0%)「興味がある」(19.2%)、と、「興味・関心層」は28.2%であり、この層は他の属性に比べ年齢が若い層が多く、さらに小さな子供がいる家族の割合が高い傾向がみられました。

出典：観光庁 2013年3月
「新たな旅のスタイル ワークーション&プレジャー」

■ 南部町里山ワークーションプログラム造成事業の成果

本事業は、令和3年12月、4年11月に町農泊推進協議会がゲストハウスてま里などと連携して実施したモニターツアーで、大都市圏の親子連れ4家族13人に、南部町の人や里山に出会い交流を通して南部町を第二のふるさとに感じてもらう仕組みを作り、関係人口創出や移住促進を狙いました。

メニューは、子どもたちが地域住民と里山を散策して生き物と触れ合ったほか、リースや竹馬づくり、南部町給食レシピでランチづくり、焚火でごはんづくり、農泊などで、親たちは複合施設キナルなんぶのコワーキングスペースなどを活用し、仕事に取り組みました。

アンケートの結果、4家族とも里山ならではのメニューや受入れ体制に満足しており、「1年以内に南部町にまた来たい」と答えています。また「親子ワークーションは子供を見て下さる方との信頼関係が大きい」、「ワークーションを目的として出会えたコミュニティは貴重」、「色々な大人や様々な年代の子供たちと交流できることも親子ワークーションの良さ」など、参加者が地域住民との交流を重視し、評価していることが分かりました。

このような地域住民と交流できるワークーションは、当エリアの強みになります。

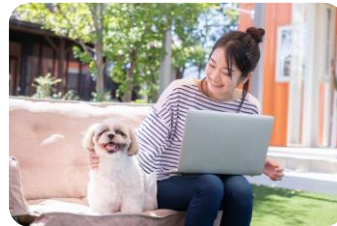
2-1. エリアの目指すイメージとターゲット

■エリアの目指すイメージ

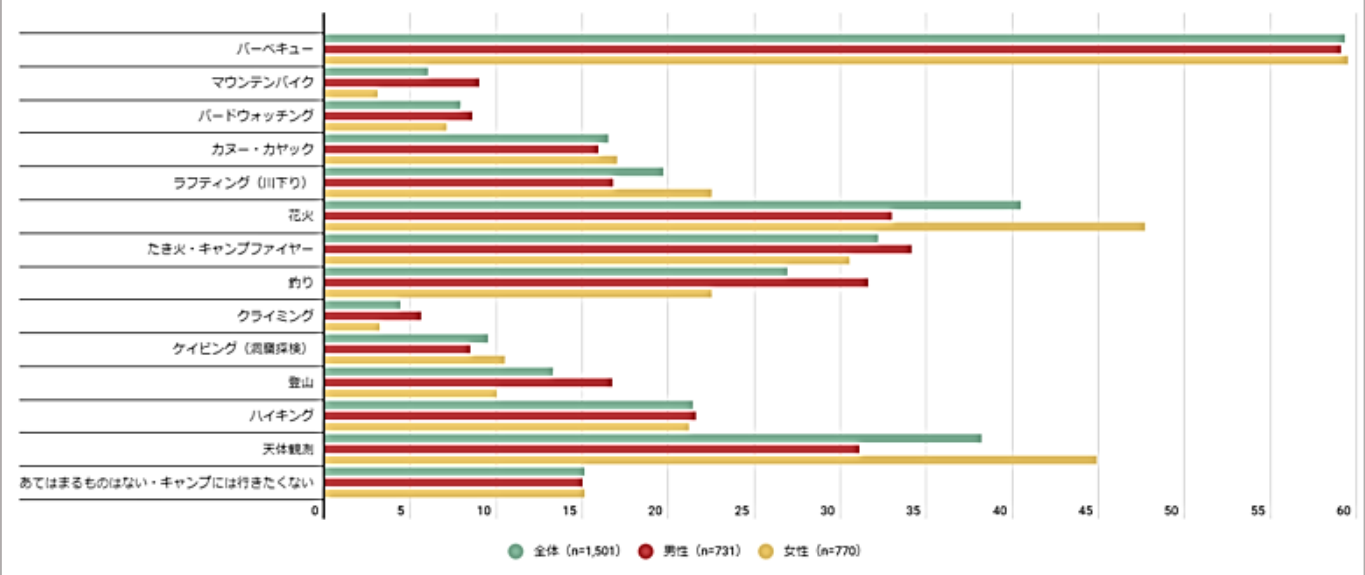
「非日常を求める大人たちに、住民との交流や里山体験を通じて安らぎと気付きを提供し、明日への活力を養うエリア」

南部町民にとっての日常の風景は、都市部住民にとっては非日常の光景です。自然の中でバーベキュー、焚火、天体観測など里山ならではの非日常体験や、古くからの暮らしを受け継ぐ住民との交流を求める都市部住民の希望に応えられる環境とアクティビティを整えます。

また、特に企業に対しては、非日常の空間での社員研修を通じて社員間の結束力を強め、より高いパフォーマンスが発揮できるような研修プログラムを提供します。



キャンプに行ったら現地で行いたいと思うアクティビティはなんですか。



出典：カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社HP
2020年10月『アウトドアに関するアンケート調査』

■メインターゲット、提供するツールと価値

メインターゲット	都市部の企業
ツール	企業向け研修型ワーケーション
価値	<ul style="list-style-type: none"> 豊富な研修施設を活用した企業研修 南部町ならではの課題を提供した課題解決型研修 地域住民との交流を通じて課題と解決方法を発見するプログラム 里山や自然に関する体験活動

2-2. イメージとターゲットに基づき挑戦した実証事業

「1. 背景」で述べた個別ヒアリングにおいて、KPT法の成果として提案された様々な事業アイデアの内、設定したイメージとターゲットに合うと考えられる以下の4件について実証事業を行いました。

事業内容	期間	目的
軽トラ市	令和4年7月	豊かな自然環境で育った特産野菜の提供
漬け物教室計3回	令和4年9月	宿泊客、ワーケーション客に体験メニューを提供
藍染体験計2回	令和4年10月	同上
漬け物コンテスト	募集：令和4年10月～令和5年1月 審査：令和5年1月、2月	南部町特産の漬け物とその文化の普及



軽トラ市のチラシ



親子で盛り上がった漬け物教室



自然の中で藍染体験

これらの実証事業を通じて、実施事業者は以下のことを把握することができました。

- ・漬け物教室や藍染体験の参加者の満足度は非常に高く、緑水湖エリアの地域資源を活用した手仕事や料理などは、体験教室のコンテンツに十分なり得る。
- ・親子の体験の場、参加者同士の交流の場、地域の住民との交流の場としての需要は非常に大きい。
- ・米子市南部の在住者は、キナルなんぶ等南部町を訪れる機会の多い方も多い。また、交通アクセスの良さから、島根県東部の住民も広報先として考えられる。
- ・イベントは事前の広報が重要である。既存のネットワークを活用した周知、プレスリリース等を行うことが望ましい。
- ・イベントの集客数も重要だが、来客をエリア内で周遊させるための仕組み、例えば事前にSNSやメール等でエリアのグルメや見所を案内すること、ふれあい市や緑水園に立ち寄ってもらうため営業時間を工夫することなども重要である。

実証事業を通じて、今後もエリア内の様々な資源を活用して体験事業を実施していくことへの機運が高まりました。

3-1. 基本方針の全体像

■キャッチフレーズ

当エリアの目指すイメージとメインターゲットを定めたことから、当エリアのキャッチフレーズはそのイメージとメインターゲットに合わせ、以下のように決定しました。

～豊かな自然や里山文化を活かした、緑水湖周辺エリアの**再生復活**～

緑水湖周辺の豊かな自然や里山文化は、ここで生きる人たちの何よりの誇りであり、観光資源になりうるものです。これらを存分に生かし、当エリアを再生復活します。

🌱コラム～～～**再生復活**～～～

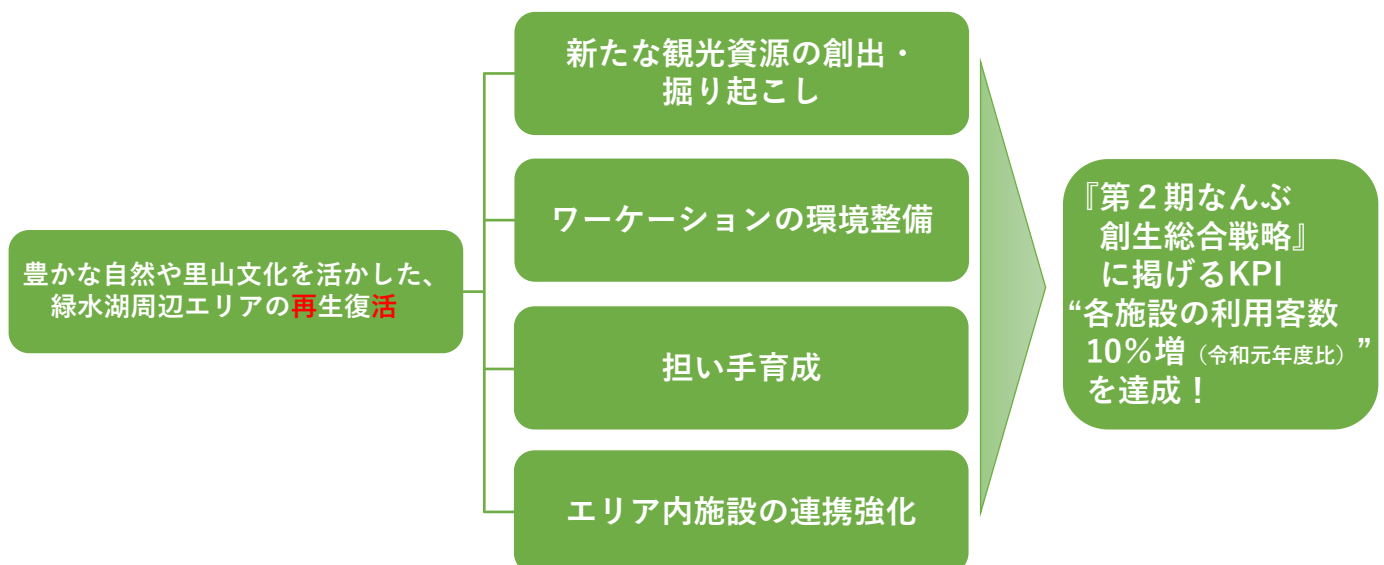
「再生復活」は、南部町にある赤猪岩神社が大国主（オオクニヌシ）再生神話の舞台とされることから、当エリアで地域活性化の合言葉としてかつて広まりました。

赤猪岩神社は、日本では珍しい「再生・復活」の地とされ、病気や怪我からの復帰や、仕事・スポーツ・学業など再起・再出発を祈願する方々が訪れます。

【再生神話のあらすじ】 大国主がたくさんの兄たちとヤガミ姫に求婚に行く途中、傷を負ったウサギを助けた後、兄たちに騙されて真っ赤に焼けた猪のような岩で火傷をして絶命しました。これを知った大国主の母サシクニワカヒメは、赤貝の神とハマグリの神に助けを求め、二人の神が貝殻、母乳、清水井の水で治療したところ、大国主は息を吹き返しました。道中助けたウサギは実はヤガミヒメの家来で、ウサギの導きで大国主はヤガミヒメと無事に結ばれました。

■4つの基本方針

SWOT分析結果、イメージとメインターゲット、キャッチフレーズを基に、当エリアの基本方針を次の4つに決めました。



3-2. 新たな観光資源の創出・掘り起こし

当エリアには、豊かな自然や里山の暮らしに根付いた文化、生業など、地域の資源（ヒト・モノ・コト）が数多くあります。

またエリア外にも、町民が代々受け継ぎ皆が誇りとする自然、農業、手仕事などの地域資源が豊富にあります。受け入れ人数や季節により当エリアで担いきれない場合は、エリア外の観光資源の担い手と分担することにより、町全体で受け入れ体制を整えることができます。



緑水湖



里山の竹を使った竹あかり作り体験



源流米 稲刈り体験



森林公園キャンプ場



星空観察

一方で、これらの地域資源は、観光事業としては活用されていないものが多いという課題もあるため、新たな観光資源の創出・掘り起こしが必要となっています。

当エリアで暮らし、働く人たちが、これらの地域資源を誇りに思い、訪れる人々に体験コンテンツとして提供できるようになることを目指します。

当エリアの資源の一覧

- ・森林公園：キャンプ場、栗拾い、野球場や運動場、森林散策、木工体験
- ・農産品：漬け物、シイタケ、農業体験、BBQ、ふれあい市の地元野菜、竹あかり作り
- ・森林：炭焼き体験、竹するめ（おつまみ）、竹あかり、木工体験
- ・宿泊：緑水園、コテージ、森林公園キャンプ場、緑水湖オートキャンプ場
- ・スポーツ：サイクリング、アリーナ、森林公園、マラソン大会、ウォーキングコース
- ・グルメ：緑水園のランチとソフトクリーム、穂のか、BBQ
- ・自然：緑水湖、星空、桜とモミジ、森林散策
- ・文化：かまくらふれあい祭り、祐生出会いの館、穂のかの手仕事体験

3-3. ワークーションの環境整備

当エリアは、森林公園キャンプ場、緑水湖オートキャンプ場、虹の村コテージ、緑水園といった多様な形態の宿泊施設と緑水湖研修センターを有しています。



ゆったり森林公園キャンプ場



大山を望む緑水湖オートキャンプ場



虹の村コテージ



桜に囲まれた緑水園



緑水湖研修センター

一方で、友人同士、家族連れ以外の方に、過ごし方を提案できていないという課題があり、最近のキャンプ需要、宿泊動向に合わせて環境を整備することが求められます。

多様な働き方としてのワークーション、企業研修としてのアウトドア研修が注目される中、当エリアの宿泊施設の環境を整備することにより、ワークーションやアウトドア研修に活用してもらい、訪れる人々とその家族が寛ぎ、笑顔で過ごせることを目指します。

■里山テレワークモニターツアーの成果

本事業は、令和4年8月に実施した緑水園研修館を活用したモニターツアーで、大都市圏の5社10人が参加しました。参加者からは、SDGs体験プログラムを評価する声が聞こえ、他の自治体との差別化として、「一般の観光事業ではなく、南部町ならではの体験プログラムが必要」、「チームアクティビティのプログラムがあるとよい」といった指摘を受けた一方、「課題解決型研修の場となりうる」、「課題をオープンにして説明いただいたのがよかった」などの評価の声もありました。

当エリアの地域資源や担い手により、企業には「観光・福利厚生」ではなく、「学び・気付き・ネットワーク構築・越境体験・リスクリング」の場となるワークーションを企業に提供することができます。

3-4. 担い手育成

3-2. の観光資源は、当エリアでは中高年が担い手となっているものがほとんどです。このことから、若い人たちが子どもの頃からこれらの観光資源に慣れ親しみ、受け継ぎ、育てていくことが課題です。

そこで、子どもたちが当エリアの観光資源を楽しむことができる体験の機会を設けること、当エリアの担い手と交流をする機会を設けることにより、子どもたちが当エリアの観光資源に対する愛着を深められるようにし、将来の当エリアの担い手になることを目指します。



また、地域資源を活かした体験事業を増やせば、その体験事業の企画運営を通じて担い手が育っていくことも期待できます。

時期的に、時間的に、当エリア内の担い手だけでは手が回らない事業については、エリア外から人を呼び込んで手伝ってもらうことで、関係人口として当エリアのファンになってもらえる可能性もあります。

このように、子ども、大人、エリア外の関係人口といった、様々な年代や様々な地域の人々で当エリアの活動を担っていくことが可能です。

3-5. エリア内施設の連携強化

当エリア内施設のより一層の連携を強化することにより、エリアに来る人々が複数の施設を活用し、多様な過ごし方ができることを目指します。

現在エリアで開催されているイベント等は、主催者が単独で広報を行い、単独で運営するため、イベント来場者がイベント会場以外の場所への立ち寄りが少ないことが課題です。

これからは、連携して広報を行い、事前にエリアの魅力をPRすることで、来場者の立ち寄りや消費を増やすことを目指します。

また、連携してブランディングすることで、当エリア全体の情報を発信していきます。当エリアの拠点である緑水園のホール、キナルなんぶをエリア情報の発信の場にするとともに、共同HPまたはSNSの運用、チラシの共同配付により、事業者一体となってエリア外の方に当エリアの活気を届けます。



4-1. アイデアの一覧

4つの基本方針それぞれについて、当エリアの活性化実現のためのアイデアを以下のよう
に検討しました。

豊かな自然や里山文化を活かした、
緑水湖周辺エリアの**再生復活**

新たな観光資源の創出・ 掘り起こし

- ・ワーケーション同行家族の過ごし方提案
(漬け物教室、星空観察、アリーナの活用)
- ・ワーケーション向けプランの開発 (住民と取り組む課題解決型研修、研修センターの活用)
- ・サステイナブルツーリズムの推進
(メニュー化、ガイドの育成)

ワーケーションの環境整備

- ・テレワークの環境
(ネット環境、電源環境、プリンターなどの整備、
アウトドア研修のプログラム開発、
割引サービス、宿泊・体験プラン)

担い手育成

- ・学校教育との連携
(学校での広報、子どもの職業体験)
- ・担い手育成事業の実施
(シイタケ植菌体験、手仕事教室、栗拾い体験、
野菜・果物詰め放題)
- ・関係人口の創出
(ボランティア募集)

エリア内施設の連携強化

- ・施設横断的な滞在メニュー
(かまくらふれあい祭りのリニューアル、
周遊のための事前PR、
スタンプラリー (クイズラリー))
- ・エリアブランディング
(当エリアの拠点としての緑水園の活用、
当エリアの情報を発信するInstagramの開設、
キナルなんぶにイベントカレンダー設置、
チラシ、エリアマップ等の共同配付、
緑水園500円弁当にチラシなどを同梱)

4-2. 新たな観光資源の創出・掘り起こし

ワーケーション同行家族の過ごし方提案： 最近のワーケーション需要の高まりを踏まえ、ワーケーション中の余暇の過ごし方や、同行家族の里山の楽しみ方を提案します。

* 漬け物教室：

エリア特産の野菜を使って、さいはく山菜のベテラン講師が漬け物の作り方を教えます。エリアの野菜の魅力、料理の楽しさを参加者に感じてもらうとともに、南部町の源流米と漬け物でおにぎりを作って味わってもらうことで、お土産消費も目指すことができます。



さいはく山菜が主催した漬け物教室

参加費 無料

親子で楽しむ **漬け物教室** 親子以外も大歓迎！

野菜を長期保存するための方法のひとつとして日本でも古くから作られてきた漬け物。多くの遺産物がとれる南部町でもその文化が継承されてきました。50年前から南部町で漬け物製造を営む「さいはく山菜」の秘伝のレシピを教わって、奥深い漬け物の世界に足を踏み入れてみませんか？

第1回 9/4 (日) 10:00-12:00 やたら漬	第2回 9/11 (日) 10:00-12:00 金山寺みそ	第3回 9/25 (日) 10:00-12:00 ふきの佃煮+ふき菓子
---------------------------------------	---	--

会場 かまくら山荘 調理室
〒683-0342 鳥取県西伯郡南部町能竹394-2

講師 農事組合法人 さいはく山菜
南部町で漬け物を作って50年の老舗！商品は緑水湧ふれあい市やアスバル(白西津村)で購入できます。

定員 10名/回 ※応募多数の場合は抽選となります。

対象 どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

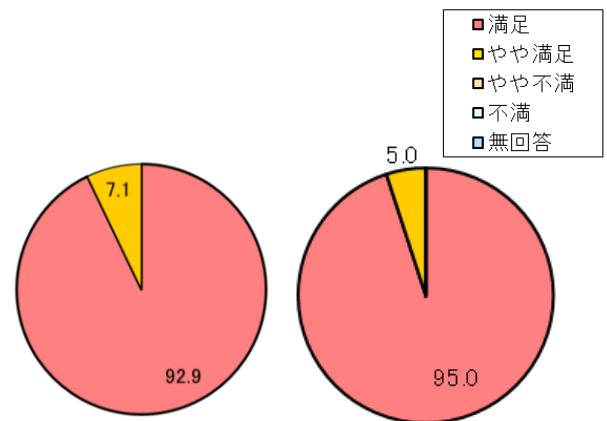
持ち物 エプロン、マスク、お箸(はし)、タオル、飲み物

注意事項 ・コロナウイルス感染対策のため、マスクを着用してください。
・当日、体調が悪い場合は参加をとりやめください。
・キャンセルの場合は、以下連絡先までお問い合わせください。

問合せ さいはく山菜 ☎0859-66-3826 お申込み方法は裏面をご覧ください

【主催】農事組合法人さいはく山菜 【共催】一般社団法人さいはく 【後援】南部町産業課

令和4年度の取り組み
親子で楽しむ漬け物教室



参加者アンケートでは全員満足！

左：小学生以下 14人
右：中学生以上 20人

意見交換会では、

- ・また参加したい、家でも作りたい、
 - ・作った漬け物がおいしかった、
 - ・スタッフや参加者と交流できてよかった、
- など、各回とも高評価でした。

4-2. 新たな観光資源の創出・掘り起こし

* 星空観察：

鳥取県が「星取県」で知名度が高いことを活かし、当エリアでは更に、街灯一つ無い原っぱでの星空観察が楽しめることをアピールします。星空観察のための道具を揃え、安全対策を取ることで、星空観察が楽しめる環境を整えることができます。

「アウトドアに関するアンケート調査」（p.8参照）でも、天体観測はキャンプ客に人気のコンテンツであることが分かっており、星空観察の環境を整えることにより、キャンプ客誘致に繋げることができます。



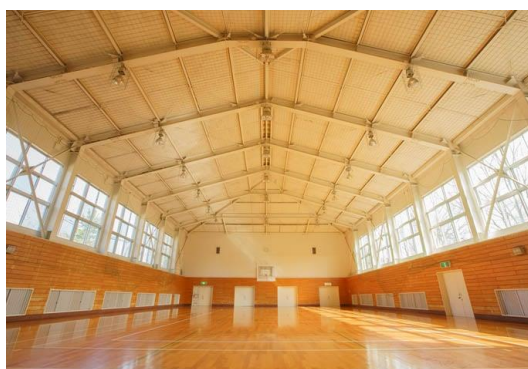
虹の村コテージ前の芝生で星空観察

* アリーナの活用：

アリーナは、バスケットボール・バレーボールのコート、バドミントン、卓球台を備えた本格的な体育館です。社員同士で企業研修の余暇に身体を動かすにも、親子で休日に短時間遊ぶにも良い施設で、今までと異なる広報をすることも大切です。

- ・ 広報の例 1) 観光協会HPでの広報
- ・ 広報の例 2) 企業向けや学校向けのチラシ配布

また、企業向け、家族向けの利用には、貸出用スポーツ用品、水回り設備、更衣室などを整えることも必要です。最近のキャンプは「手ぶらキャンプ」といってキャンプ用品を現地のレンタルでまかなえるスタイルが人気になっており、スポーツにおいても同じように「手ぶら〇〇」の動きが広まっています。



アリーナ内部



アリーナ外観

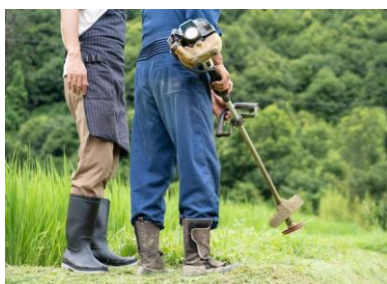
4-2. 新たな観光資源の創出・掘り起こし

ワーケーション向けプランの開発： ワーケーションを課題解決型研修に活用したい都市の企業の要望を踏まえ、研修者がエリアの住民と交流しながら、エリアの課題を住民と一緒に解決できるプランを提案します。

* 住民と取り組む課題解決型研修：

緑水湖畔に生い茂る草や竹は毎夏、エリア住民がボランティアで草刈り・藪刈りを何度も行っており、住民により景観と安全が保たれていますが、住民の高齢化で担い手が不足しつつあります。また、地域の特産品である竹するめ製造、漬け物製造や、シイタケ植菌体験活動、炭焼き体験活動の運営も、担い手の高齢化及び季節集中型作業という性質上、担い手不足が課題となっています。

一方で、都市の住民にとっては大自然の中での作業は非日常の貴重な体験であり、かつ住民とともに取り組む作業は、住民の気持ちを汲み取って解決方法を共に生み出すという人材育成の場でもあります。このことを活かし、当エリアならではの課題解決型研修プランを企業に提案することができます。



毎年数回にわたる草刈り

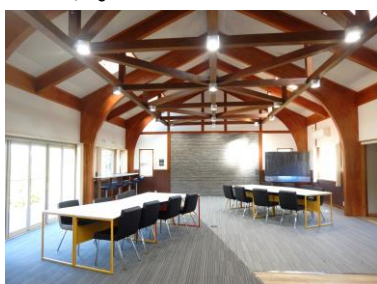


竹するめ製造現場

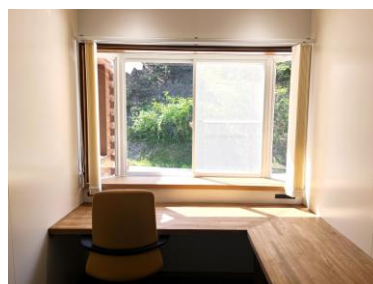
* 研修センターの活用：

研修センターは、一階にウッディでモダンなコワーキングスペース（24席）と個人ブース（5席）、二階には3つのサテライトオフィスがあり、高いセキュリティを備えた高速Wi-Fiを利用できることから、企業・法人の研修や会議、学校の教育合宿等に最適です。

コテージや令和4年度に整備したドッグランが隣接すること、宿泊や食事にはコテージや緑水園を使えることから、企業研修やワーケーションに向けたプランを設定すれば多様な需要が生まれます。



光の差し込むコワーキングスペース



個人ブース

4-2. 新たな観光資源の創出・掘り起こし

サステイナブルツーリズムの推進： 国際的にSDGsの考え方が浸透してきている中で、サステイナブルツーリズムが注目を集めています。南部町は、農林業を通じた農産環境の保全が全町的になされており、町の鳥であるブッポウソウをはじめ、里地里山に特徴的な種が多く見られることが評価され、環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定されています。また、「里地里山の暮らしを知る旅」というテーマで農泊事業も推進しています。

このような資源を持続可能な社会の実現に向けたストーリーとしてつなぎ合わせたサステイナブルツーリズムを推進します。

*サステイナブルツーリズムのメニュー化：

本エリアで既に有する資源、コンテンツをもとに、サステイナブルツーリズムを本エリアに滞在する目的の一つとして磨き上げていき、体験者に持続可能な暮らしのヒントを持ち帰ってもらうツアーを造成します。



【コンテンツ案】

コンテンツ	サステイナブルな要素
農泊・農業体験	<ul style="list-style-type: none"> 里地里山の保全に寄与している農業の体験 農家の昔ながらの暮らしの知恵
シイタケ植菌体験	間伐材の活用
木工体験	間伐材の活用、プラスチック製品の削減
藍染・草木染体験	衣服等を長く大切にするための工夫
竹するめ体験	竹林の保全
漬け物体験	食品保存、フードロス削減

*ガイドの育成：

本エリアの歴史や、田舎暮らしの知恵と工夫がどのようにして持続可能な社会に結び付くかといったことを、サステイナブルな視点を持って語るができるガイドを育成していきます。

4-3. ワークーションの環境整備

テレワークの環境： テレワークでの滞在を推進するため、インターネット環境はもちろん、プリンター等を設置するなどのテレワーク環境を整えるほか、テレワーク利用者向けの宿泊プランを提案することで、利用促進を図ります。さらに、キャンプ場を活用したアウトドア人材研修のプログラム開発を検討します。

* ネット環境、電源環境、プリンターなどの整備：

研修センターは、利用者がテレワークを快適・安心に行えるよう、高速Wi-Fiと高度セキュリティの整備を行いました。

以下の施設でもテレワークを行う上で、WEB会議が可能となるインターネット環境、電源環境、プリンター等を整備します。

緑水園／虹の村コテージ／緑水湖オートキャンプ場



* アウトドア研修のプログラム開発：

予測不可能な時代に求められる素養を高めることが期待できるとして、近年、キャンプを通じたアウトドア研修が注目を集めています。

テント設営や野外調理等を通じたチームビルディング研修のほか、アウトドアという環境を活用したクリエイティブな企画会議などが実施できます。このような研修に、当エリアの魅力を盛り込んだり、地方の課題を解決するための企画会議を提案するなど、南部町ならではのプログラム開発の検討を進めます。

キャンプ場やコテージ前広場の自然に囲まれた立地を活かし、企業客、団体客の誘致を目指します。



アウトドア研修の風景
いずれも(株)スノーピークビジネスソリューションズHPより

4-3. ワークーションの環境整備

*割引サービス、宿泊・体験プラン：

代金の割引や助成、宿泊と体験をセットにしたプランなど、ワークーションを利用したい方が利用しやすいサービスや料金体系を検討します。

【事例】新潟県糸魚川市

ワークーション利用者は1泊2日～6泊7日の間で宿泊施設を無料利用することができるほか、同行する子ども（小学生）は滞在期間中、糸魚川市のモデル校に体験入学することもできます。特徴的な点は、年3回、1学期・2学期・3学期毎に一週間ずつ同じ小学校に通えることです。訪れた子にとって糸魚川市が「第2、第3のふるさと」になることを目指しています。

親子ワークーション中の体験入学イメージ図



出典：糸魚川市親子ワークーション

【事例】北海道富良野市、宿泊・レンタカー代を助成

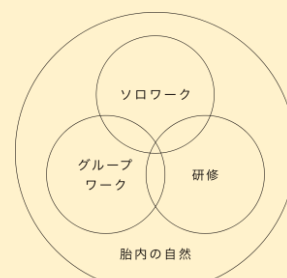
助成対象経費・助成限度額一覧表

助成対象経費	助成限度額	助成割合	単位	備考
宿泊費(素泊まり又は朝食付き)	5,000円	二分の一以内	1泊/1人	7連泊分まで助成
	10,000円	四分之三以内 ※1		
レンタカー利用料	2,500円	二分の一以内 ※2	1日	8日分まで助成

【事例】新潟県胎内市 「豊かな自然に囲まれた温泉リゾート！くつろぎプラン」

胎内市と、リゾートホテルを運営する胎内リゾートでは、人材育成、合宿、修学旅行、コロナ疎開ワークなど組織の課題解決にコミットするプログラムをオーダーメイドで作成することが可能。

- ・ホテル内コーヒーがフリードリンク、館内Wi-Fi無料
- ・山奥の施設では「電波が届かない」ということを逆手に取り、「仕事に集中できる施設」として案内
- ・絶景露天風呂がご褒美
- ・新潟の食材をつかったコース料理がディナー
- ・スノーピークのおしゃれなキャンプ設備を導入



出典：胎内市里山ワークーションHP

4-4. 担い手育成

学校教育との連携： 若い人たちが子どもの頃から当エリアの観光コンテンツに慣れ親しみ、受け継ぎ育てていけるよう、学校でも取組を進めます。

* 学校での広報

当エリア内の事業者が学校に出向き、地域活性化の取組やイベントの案内などを、自らの言葉や資料を用いて、子どもたちに直接行うことにより、子どもたちに当エリアの魅力を実感してもらう取組です。

写真、商品、商売道具などを用いて、見たり触ったりしながら、当エリアで働く楽しさ、当エリアを盛り上げる工夫を子どもたちに味わってもらいます。



畑や加工場の写真を貼ったスケッチブックで子どもたちに取組を紹介

地域活性化の取組の例



事業者共同で作成した
外遊びマップ



エリア外の人を呼び込む手仕事教室の開催



地元で採れる竹をお土産に



地元の野菜で漬け物づくり

4-4. 担い手育成

* 子どもの職業体験

当エリアで暮らす子どもたちが、事業者の仕事やイベントを手伝うことで、当エリアの観光資源や特産品の魅力、当エリアで暮らす人たちの繋がりに気付くことができます。

職業体験を通じて、子どもたちに、当エリアとの関わり方や当エリアの将来を考えるきっかけを与えることを目指します。



マルシェで販売体験



農家さんと稲刈り体験



当エリアの事業者たちとの繋がりを感ずる

4-4. 担い手育成


担い手育成事業の実施： 当エリアにあふれる、豊かな自然や里山の暮らしに根付いた文化、生業など地域資源を活用した体験事業を増やし、その体験事業の実施を通じて担い手を育成します。

* シイタケ植菌体験：

植菌体験に訪れる人が、南部町特産のシイタケの植菌や、その原木を持ち帰って栽培することを通じて、南部町のシイタケの魅力を伝えることができます。体験事業を続けることにより、企画運営の担い手が育ちます。



シイタケ植菌体験

 コラム〜〜〜森林環境保全税〜〜〜

シイタケ植菌体験の費用は、県税である森林環境保全税で賄われています。

南さいはく地域振興協議会は、鳥取県や南部町と協議しながら、シイタケ植菌体験や緑水湖周辺の森林整備に取り組んでいます。

* 手仕事教室：

「カフェ・ド・穂のか」が木々や草花に囲まれた素晴らしいコテージ風の飲食施設であるという魅力を活かし、カフェ・ド・穂のかで開催される手仕事教室を通じて南部町の手仕事の良さや大切さを伝えていくことができます。



藍染体験

4-4. 担い手育成

* 栗拾い体験：

森林公園にはたくさんの栗が自生しています。栗拾いはもちろんのこと、栗を使った遊びや、森林探検も行うことができます。栗に親しむことのできる企画とその運営ができる担い手がいれば、栗拾いの楽しさや栗を取り巻く自然環境の魅力を次世代に繋ぐことができます。



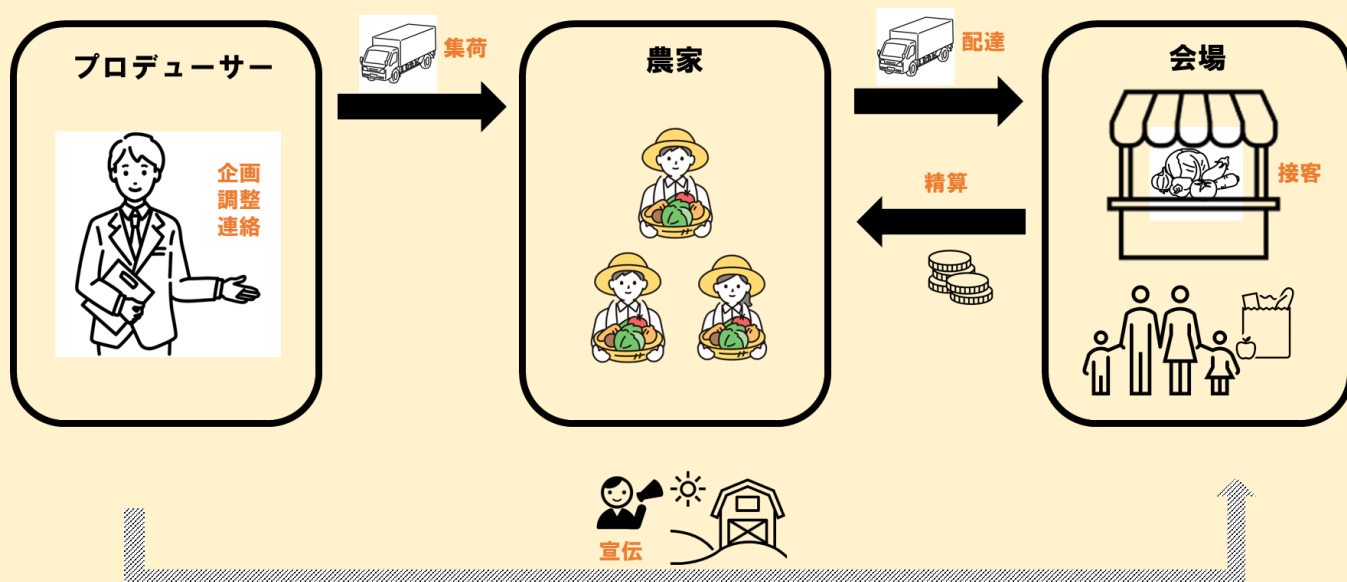
栗拾い体験

* 野菜・果物詰め放題：

南部町特産の野菜や果物は、ネギ、柿、イチジク、夏野菜など、旬の時期に収穫が集中するものが多くあります。これらを詰め放題の企画で来場者に楽しく購入してもらい、農家や売り場の売上アップに繋げる企画です。

多忙な農家によって、宣伝、集荷、売り場対応、精算といった一連の流れを組み、農家と売り場を橋渡しする担い手を育てます。

【イメージ図】 詰め放題イベントの一連の流れ（赤字部分をプロデューサーが担当）



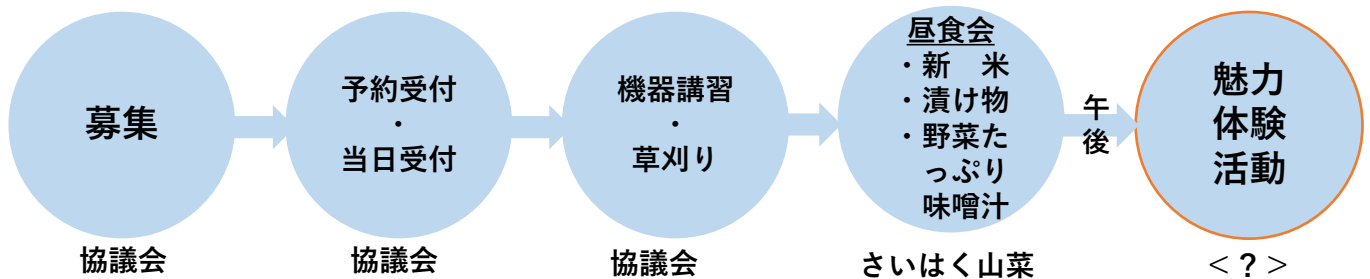
4-4. 担い手育成

関係人口の創出： 時期的に、時間的に、当エリア内の担い手だけでは手が回らない事業が今後出てきます。そこで、事業と観光コンテンツの両方を楽しめる企画でエリア外から人を呼び込みます。

* ボランティア募集

景観整備（草刈り）は、当エリアの毎年の課題になっています。そこで、草刈りと当エリアの魅力体験活動を組み合わせてエリア外の人々を呼び込み、当エリアの魅力を味わってもらう企画により、その後のリピーターになってもらえる可能性が生まれます。

魅力体験活動は、草刈りとストーリーで繋がること、イベントを通じて地域の魅力発見ができること、かつ低コストである内容がよく、サイクリング・文芸の小径散策（草刈りにより爽快に走れる・歩ける）、フォトスポットめぐり（草刈りにより撮影しやすくなる）などが挙げられます。



【事例】草刈り応援隊事業

任意団体「里山照らし隊」（島根県雲南市吉田町）による事業で、次の特徴があります。

- 地域の自然環境と田園風景を守るため、本来作業である”草刈り”と、周辺散策やツリークライミングといったイベントを組み合わせることで実施、地域の魅力を発信。
- 保険代のみ徴収し、昼食のほか、粗品を提供。
- 草刈りをした地域のお米「うやま米」は草刈り応援隊参加者の積極的な購入も後押し、ブランド化へ。



里山照らし隊 HPより 活動写真



募集チラシ

4-5. エリア内の連携強化

施設横断的な滞在メニュー： エリア内施設のより一層の連携を強化することにより、当エリアに来る人々が複数の施設を活用し、多様な過ごし方ができることを目指します。受入れ人数や季節により当エリアで担いきれない場合は、エリア外の観光資源の担い手と分担することにより、町全体で体験コンテンツの提供体制を整えることができます。

* かまくらふれあい祭りのリニューアル

コロナ禍で様々なイベントの開催要領が見直され、特に飲食イベントは規模縮小、時間と場所の分散が主流となりつつあります。

一方で、当エリア最大のイベント“かまくらふれあい祭り”は、コロナ禍以前は地域の方を対象に14時ごろで終了という企画であったため、リニューアルが必要という声が南さいはく地域振興協議会から上がっていました。午前と午後を通して楽しめる場、エリア全体で遊べる場に変えていきたいという協議会の思いは、コロナ禍での時間と場所の分散開催の潮流にも合っていることから、リニューアルされたかまくらふれあい祭りは、今後当エリアのキラーコンテンツとしてエリア外から更に多くの人々を呼び込み、ファンになってもらえる可能性があります。

■ 午後の部を追加

(例1) イベントは午前・午後の2回に分けて、スケジュールを明記

第1回 午前10時～ 第2回 午後2時～

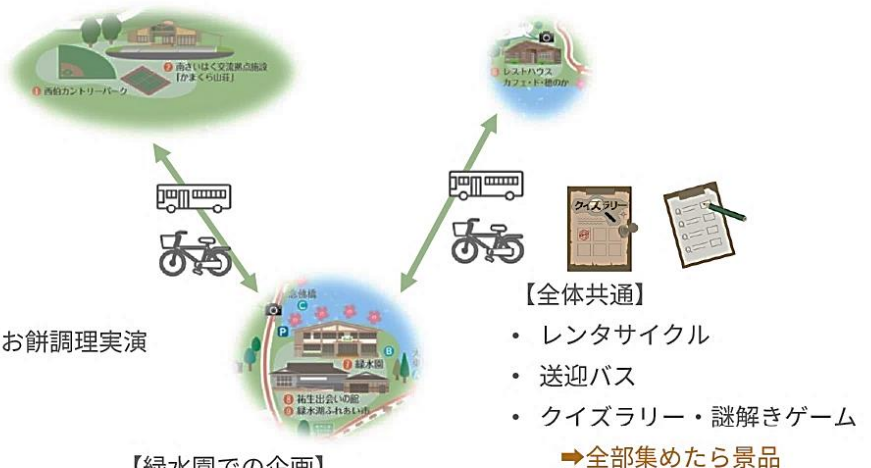
(例2) 1回目と2回目で内容を変える

第1回 根菜詰め放題、 第2回 果物詰め放題

■ 周遊する仕組み（段階的に導入）

【かまくら山荘での新企画】

- ふれあい市：野菜スタンプ
種当てクイズ⇒景品
重量当てクイズ⇒景品
野菜の絵本読み聞かせ
- さいはく山菜：おもち＋焚火
キャンプもち実演
ホットサンドメーカーでお餅調理実演



【緑水園での企画】

- ふれあい市：野菜詰め放題
- さいはく山菜：漬け物実演（塩漬け、野菜下処理）
漬け物＋おにぎりパーティ

4-5. エリア内の連携強化

* 周遊のための事前PR

来訪者がエリア内での宿泊やイベントの参加予約をした際に、周辺施設の季節ごとのオススメ情報や周遊マップ等を事前にメール等で送付することで、来訪時の周遊を促すことが期待できます。そのために、エリア内施設で定期的に情報を共有しておく必要があります。

【事前情報例】

緑水園のイチジクソフトがオススメです。

カフェ・ド・穂のかで△△展を開催中です。

緑水湖ふれあい市（産直市）では旬の〇〇を販売中です。

ついでにココも
行ってみよう！

旬の
オススメ
情報



* スタンプラリー（クイズラリー）

イベント的にエリア内を周遊する仕組みとしてスタンプラリーやクイズラリーも効果的です。スタンプラリーに謎解き等のクイズ的要素を加えることで、子どもも楽しむことができます。



参考：ルネッサンスリゾートオキナワ

ルネッサンスリゾートオキナワの「いきものマップスタンプラリー」は、子どもがスタッフとじゃんけんすることでスタンプを押してもらえる仕組みです。現地のスタッフとの会話・遊びを通じた交流は素敵な旅の思い出になり、リピーターに繋がります。

4-5. エリア内の連携強化

エリアブランディング： 個々の施設ごとに情報発信するのではなく、当エリアを一体的にPRすることで、当エリアがワーケーションとアウトドア、そして自然・田舎体験の一大エリアとして認識されることをめざします。

*** 当エリアの拠点としての緑水園**

緑水園は、当エリアの拠点として重要な施設です。当エリアを訪れる観光客やワーケーション利用客が気軽にエリア内の情報を集めることができるインフォメーションコーナーを緑水園のロビーに整備します。



*** 当エリアの情報を発信するインスタグラムの開設**

当エリアでの過ごし方を提案する情報源として、インスタグラムを開設します。開設にあたっては、ターゲットやテーマを設定し、統一感のあるアカウントとします。

【事例】 島根県うんなんエリア観光情報（雲南広域連合公式アカウント）



ターゲットは女性で、女子旅をテーマに、季節ごとのエリアの楽しみ方を情報発信しています。

4-5. エリア内の連携強化

* キナルなんぶにイベントカレンダー設置

町内だけでなく、町外の方も多く利用するキナルなんぶに当エリアのイベントカレンダーを設置し、当エリアまで足を延ばしてみようという来訪者の増加を目指します。



* チラシ、エリアマップ等の共同配付

他事業者のイベントや賞品について、自らのお客様にチラシやエリアマップをお渡しし、他事業者の広報を支援することで、エリア全体での経済効果を高めることが期待できます。

当エリアは米子駅から車で約25分で、自然や里山での体験を求める米子市やその近隣自治体の親子に来てもらいやすい場所にあります。そのため、米子市、島根県東部などにもチラシやエリアマップ等の配布を行うことで、客層を広げることができます。

* 緑水園500円弁当にイベントチラシや農産物お届け情報の同梱

町内で人気となっている緑水園の500円弁当に、イベントやエリア農産物等をオススメするチラシを同梱することで、お弁当の愛用者にお弁当配達の機会を利用した情報発信が可能です。